



血液事業

神戸・三宮で「はたちの献血」キャンペーンイベントを開催

成人の日の1月8日、神戸・三宮の「ミント神戸」で「はたちの献血」キャンペーンイベントを開催しました。長年に渡り「ラジオキャンペーンはたちの献血」を展開いただいているラジオ関西をはじめ、コープこうべ、北神急行電鉄、J:COM、コアエンタメディア、流通科学大学にご協力をいただき、今回初の試みとして、ミント神戸に特設ステージを設置。

日本赤十字社LOVE in Action「Song for the Life 音楽コンテスト」でグランプリを獲得した北原ゆかさん



三宮センター街で献血の呼びかけをする学生



北原ゆかさんのライブステージ



やアコースティックユニット「半熟BLOOD」、漫才コンビ「コンチェルト」によるミニライブのほか、協力企業のキャラクター達が応援に駆け付けてくれました。会場は大いに盛り上がり、若者への献血推進に繋げることができました。

講習のご案内

救急法基礎講習

4/21(土) 13:00~17:30

幼児安全法支援員養成講習(2日間受講)

4/7(土)・8(日) 9:30~17:30

水上安全法救助員養成講習I

4/29(日)祝、5/4(金)祝、5(土)祝、6(日) 9:00~17:00(最終日のみ9:00~14:00)

◇申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)

赤十字 兵庫 検索

イベントのご案内 救急法ミニ講習会

「もしも、目の前で人が倒れたら…救急車が来るまでの間に、私たちにもできること」人工呼吸や胸骨圧迫、AEDの使い方を、練習用の人形を使って体験してみませんか。“大切ないのちを守る正しい知識と技術”を、この機会に身につけてください。

日時:平成30年2月12日(月・休) 11:00~15:00(予定)
場所:イオンモール神戸南(兵庫県神戸市兵庫区中之島2丁目1番1)
費用:無料 お一人(一組) 15~20分程度



ひょうごの赤十字



HYOGO*

2018.2月
February

特集 1.17は忘れない



親子で学ぶ災害についての正しい知識
今まさに、苦しんでいる人びとのために
バングラデシュ南部避難民支援活動
神戸・三宮で「はたちの献血」キャンペーンイベントを開催
講習・イベントのご案内

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号

078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



1.17は忘れない

阪神・淡路大震災から23年を迎えた1月17日。震災を直接体験していない世代が増えている状況において、次なる災害に備えるために。あの震災の経験と教訓を次世代へ伝えるために、今年も「ひょうご安全の日のつどい」が開催され、兵庫県支部も参加協力しました。緊急時の避難路を歩き、震災時を追体験することで防災意識を高めようとする「1.17ひょうごメモリアルウォーク2018」では、休憩地点となった兵庫県支部の駐車場で炊き出した温かいみそ汁約1,000食を提供。身体を温めていただきました。



「赤十字まごころサービス」の豚汁を手渡す奉仕団員

メモリアルウォークのゴール地点となったなぎさ公園では、兵庫県赤十字奉仕団の皆さんが災害時に素早く対応できるようにと訓練も兼ねた豚汁約600食を炊き出し、「赤十字まごころサービス」として来場者に提供。この他にも防災訓練への参加や心肺蘇生とAEDのミニ講習会を実施しました。



水難事故を想定した訓練で傷病者の手当の確認を行う神戸赤十字病院の医師と看護師

親子で学ぶ災害についての正しい知識



青少年赤十字

12月17日に青少年赤十字加盟校の小学校低学年を対象とした「青少年赤十字キッズ・防災デー」を日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター（三木市）にて開催し、親子約40人が参加しました。災害が起きた時に、子どもたちが自分自身のいのちを守るための知識と行動力を身につけることを目的に作成された青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのちひろめるぼうさい」の中の風水害について学んだあと、起震車と煙避難を体験。参加者からは、「起震車で地震体験の時、本当の地震の怖さが少しわかりました。困っている人がいたら助けてあげられる人になりたい。」といった感想が聞かれました。



郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
 口座記号番号：01110-0-1136
 口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部
 ※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています
活動資金にご協力をお願いします



国際活動

今まさに、苦しんでいる人びとのために

～平成29年度「NHK海外たすけあい」にご協力ありがとうございました～

いま世界で紛争や自然災害、飢餓、病気などで命の危機に直面している人びとを救うため、日本赤十字社は毎年12月にNHKと共同で募金キャンペーン「海外たすけあい」に取り組んでいます。当支部では今年度も兵庫県赤十字奉仕団や日赤有功会の皆さまをはじめ、県内主要駅での街頭募金などを通じて多くの方々からご協力いただきました。



街頭募金の様子

お寄せいただいた募金は、南アジア（インド・バングラデシュ・ネパール）での大規模な水害やシリアなど中東地域での紛争に苦しむ人々への支援、予防できるはずのコレラなどの感染症に悩まされる人びとへの支援などに役立てられます。ご協力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。



兵庫県赤十字奉仕団からの寄付金を井戸支部長へ手渡す北野美智子委員長（中央）

ご協力いただいた募金のご報告			
兵庫県赤十字奉仕団	1,061,500円	地区・分区、その他	434,894円
兵庫県日赤有功会	4,542,655円	NHK	187,168円
特別赤十字奉仕団	231,500円	街頭募金	163,568円
青少年赤十字加盟校	96,968円	兵庫県支部・施設	468,355円
合計		7,186,608円	

バングラデシュ南部避難民支援活動

昨年8月末以降にバングラデシュ南部に急増しているミャンマーからの避難者。わずか3ヵ月で65万5千人が避難してきていると言われています。日本赤十字社は昨年9月から医療救護班を派遣し、ハキムパラ、バルカリの2ヵ所で巡回診療やこころのケア等の活動を行っており、バルカリには昨年12月に大規模感染症の発生にも対応できる仮設診療所を開設しました。兵庫県支部からは9月末から約1ヵ月、姫路赤十字病院の津田香津看護師が第2班として派遣され、続いて11月末から約1ヵ月間、姫路赤十字病院の高原美貴看護師と神戸赤十字病院の三嶋千恵看護師が第3班として派遣されました。

神戸赤十字病院 三嶋千恵看護師によるバングラデシュ南部避難民支援活動報告

巻き上がる粉塵、汚染された水、ビニールと竹の簡素なテント、生活を立て直すため重労働に励む人々。避難民を取り巻く環境はまだまだ過酷で、そのために体調を崩す方々が多くいらっしゃいます。活動期間中、避難民キャンプではジフテリアが大流行しました。毒素が心筋や腎臓にまわると死に至る感染症で、避難民たちの不安は高まっていました。避難民キャンプの中の私たちの診療所にもジフテリアの症状を訴える人々が受診され、ジフテリアの診断を受けた患者は病院で治療にあたり、私たちはその家族のテントを訪問し、感染を予防するための内服の指導や症状出現時の受診の促し、手洗いや咳エチケットなどの感染予防行動の指導を行い不安の軽減も図りました。フォローの為に訪問を繰り返すと、退院し元気になった患者に会えたり、家族から声をかけてくれたりと、嬉しいこともありました。

